

大江山

No.35号

発行人：山崎 明
新潟市江南区細山401
令和4年2月発行

会長あいさつ

明けましておめでとうございます。

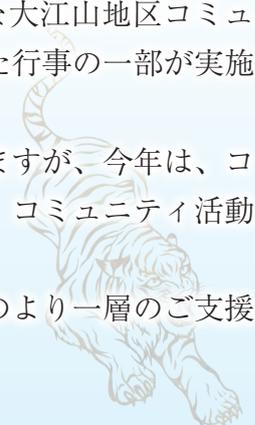
日頃から当協議会活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

昨年は各自治会から賛同のもと、一戸当たり500円の会費をいただき新たな大江山地区コミュニティ協議会として船出のはずでしたが、残念ながらコロナ禍の為、計画した行事の一部が実施できず、大変くやしい思いを致しました。

昨年末から新たな変異株も出現し、ますます先が見通せない状況下にあります。今年は、新型コロナウイルス感染症対策に充分気配りしながら地域との交流、買い物支援等、コミュニティ活動を活発に展開していきたいと思っております。

住み良い地域づくりの推進や、より良い人間関係の構築に向けて、皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りたいと思います。

合わせて、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



区長懇談会

コミ協及び自治会長と江南区長との懇談会が10月19日に開催されました。

地域課題は調査の後、理事会で集約を行い、優先課題5項目の意見交換が行われました。

地域課題	回答
避難所の備品保管について	避難所運営委員会を立ち上げ、何が備品として必要か議論したうえで協議を行って欲しい。
県道16号線の進捗状況と今後の見通しについて	用地取得に努めています。工事は用水路付け替えと盛土を行っている。
空き家と休耕地の有効利用について	集落内の空地に多くの住宅が建っている。丸山小学校のクラス増と大淵小学校の現状維持に表れている。
通学路の安全策について	通学路の安全対策は小学校と危険個所の現地確認を行った。学校に案を説明の後、対策を実施したい。
県道地下道（丸山小学校脇）の安全対策について	県道地下道に非常警報設備を設置したい。



新型コロナウイルスの感染予防のため、限られた時間でしたが、江南区長から前向きな回答をいただきました。

◎ 自主防災訓練 ◎

- 10月3日に大江山地区自主防災会主催の防災訓練が実施されました。
- 「いざというとき協力し助け合える地域づくりを目指しましょう」を合言葉に訓練。
- 今年はコロナ禍に対応した訓練として、参加人数を制限して行いました。



想定

……降り続く降雨によって阿賀野川の水位が上昇し、万願寺左岸で氾濫危険水位を超えたため、大江山地区に避難指示が発令された。



今回は新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、避難所の開設と避難者の体験訓練です。



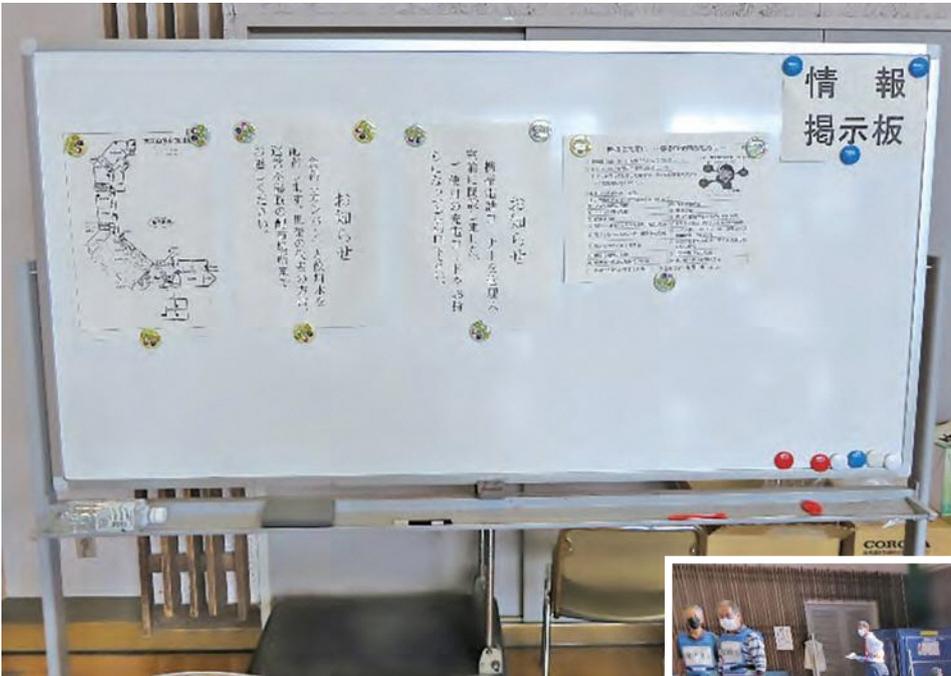
車いすの人と介助者の受付。
避難者の検温発熱者は別室に案内。



参加者47名はマスク着用。
受付で検温と消毒の後に開会です。



区役所による大雨に備えた行動講習、ハザードマップに確認、避難行動計画の作成を行いました。



情報掲示板でお知らせ
(食料・水の配布、携帯電話の充電場所など)



停電を想定し発電機を起動



居住スペースへ誘導
(1人あたりは2㎡の体験)



発電機で投光器を点灯

参加者の意見

- 避難者が多い場合、混乱して大変にならないか心配である。
- 高齢者や体の不自由な避難者に対し寄り添った対応が必要である。
- 多くの人に体験してもらいたい。また、若い人中心の訓練も大切。来年度以降も実施してほしい。

今後の取り組み

- 大江山地区自主防災会と協力して、3か所の避難所ごとに「避難所運営委員会」の立ち上げに向けた取り組みを行います。
- 各避難所運営委員会で、備品として何が必要かを議論してもらい、備品等の整備に向けた取り組みを行います。

※「避難所運営委員会」

避難所ごとに組織し、避難者の要望や意見の調整、避難所のルールづくり等の避難所運営の主体となる組織です。

地域の輪で広がる 買い物送迎の取り組み

令和3年6月から大洲自治会限定で行っていた買い物送迎の取り組みは、地域の皆様からの反響が大きく、エリア拡大に向けて検討しています。

まずは三百地自治会の希望者を対象に体験乗車会を実施し、参加者からは「自分で買い物にいけないので助かった」「おしゃべりしながら楽しく買い物ができた」と喜ばれていました。今後は、本格運行に向けて進めていきます。

〔運行概要〕

- 運行日：第1～4水曜日
10時～12時
- 行き先：ウオロク中野山店
- 登録者：13名（R3年12月末現在）



運転ボランティア大募集

ご協力いただける方は、下記までお問い合わせください

大江山地区コミュニティ協議会（水曜日のみ）

TEL：025-288-5388

大江山・横越圏域支え合いのしくみづくり 樋口大輔

TEL：080-5962-0924

◎ 地域行事紹介 ◎

10月は旧暦で神無月と呼ばれ、全国の神様が出雲に集うと言われています。西野の神明宮と諏訪神社に「神送り、神迎え」の行事があります。

西野郷土史によると明治の初め頃すでに行われていたと伝えられています。10月に神送り、11月に神迎えを行います。子どもたちが参拝者にお神酒やコーヒー、のっぺい等でもてなす風習です。近年は子どもの数が少なくなり平成29年から氏子総代、宮番、自治会役員で行っています。

取材は、11月末の寒い神迎えの日でした。集落内の神明宮と諏訪神社に90人を超える子供連れのお参りがあり、新型コロナの影響でもてなしはありませんでしたが、参拝者はおさがりを頂き帰路に着いて行きました。



編集後記

集う機会も増えてきたと思った矢先にオミクロン株の増加。人と人、地域の繋がり、顔を合わせて話をする大切さを感じています。

これからも感染症対策を行いながら、大江山の絆を深められる行事を計画していきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。